

2024 年度事業の実施状況

自 2024 年 4 月 1 日

至 2025 年 3 月 31 日

I 概況

2024 年度においては、2024 年 3 月 1 日の第 47 回定例理事会で承認された事業計画及び収支予算に基づき、食生活・食文化の向上、健康の増進及び食品産業の発展に寄与するための助成事業等を実施した。その実績及び選考委員会の開催状況は、表 1 及び 2 のとおりである。

表 1 2024 年度事業実績概要

事業	件数(件)	金額(千円)
1 学術研究助成	56	130,000
2 学術研究国際交流援助及び外国人留学生研究助成	9	6,950
(1)学術研究国際交流援助		
①研究者の海外派遣援助	2	950
②国際学術会議等開催援助	2	1,000
(2)外国人留学生研究助成	5	5,000
3 飯島藤十郎賞	2	7,000
(1)飯島藤十郎食品科学賞	1	5,000
(2)飯島藤十郎食品技術賞	1	2,000
4 特定課題研究等助成	31	82,000
合計	98	225,950

(注) 第 47 回定例理事会で承認されたベースの実績値であり、太字は 1 から 4 までの各事業の件数・金額の計及びその合計で、それ以外は内数である。

この他に、2023 年度に助成金が計上された後に辞退となったため 2024 年度に助成を取り消す会計処理を行った 2(1)②の 1 件・500 千円があるが、上表からは控除されていない。

表2 2024年度選考委員会の開催状況

選考委員会	開催日	選考担当事業
学術研究助成選考委員会	第83回:2024年11月14日 (於:如水会館/Web会議) 第84回:2025年2月7日 (於:如水会館)	・学術研究助成
飯島藤十郎賞選考委員会	第27回:2024年7月16日 (於:如水会館) 第28回:2024年9月6日(書面) 第29回:2025年1月20日 (於:如水会館)	・飯島藤十郎賞授賞 ・研究者の海外派遣援助 ・国際学術会議等開催援助 ・外国人留学生研究助成
特定課題研究等選考委員会 (小委員会:特定課題研究等選考委員会規程第9条に基づく小委員会。略称「大型特定研究小委員会」。)	第15回小委員会:2024年7月8日 (於:如水会館) 第38回:2024年9月9日 (於:如水会館) 第16回小委員会:2024年10月8日 (於:如水会館) 第39回:2024年12月9日 (於:如水会館) 第40回:2025年2月3日(書面)	・特定課題研究等助成

II 事業の実施状況等

1 学術研究助成 (56件 計130,000千円)

本助成は、当財団の指定する食品科学等の分野の研究を行う研究者及び研究グループを対象として助成金を交付するものであり、この分野の研究が行われている400の日本国内の大学、短期大学、高等専門学校等及び公的研究機関の長あてに、2024年7月18日付け文書をもって募集案内と推薦の依頼をしたほか、財団速報等で広報を行った。さらに、指定する研究分野に関連のある(公社)日本食品科学工学会、(公社)日本食品衛生学会、(公社)日本栄養・食糧学会、(一社)日本応用糖質科学会、(一社)日本食品保蔵科学会、(一社)日本調理科学会(以下「関連6学会」という。)及び(公社)日本農芸化学会に対して、「2024年度学術研究助成募集要領」を学会誌や学会ホームページ等で広報するよう依頼した。

2024年8月13日から申請受付を開始し、10月8日をもって締め切った。申請手続きについては、

2022年度から電子申請方式を導入しており、2024年度は全申請が電子申請で行われた。

応募件数は110件(個人研究95件、共同研究15件)で、2023年度より個人研究は1件減少、共同研究は2件減少となり、全体で3件の減少となった。募集要領に定める要件を明らかに満たさない申請はなかったため、110件全件を受理した。募集先別の応募件数等を次に掲げる表3及び4に示した。

表3 2024年度学術研究助成募集先別応募件数一覧

()は2023年度実績

研究機関		募集先 機関数	応募件数	受理件数	受理内訳		
					個人研究	共同研究	
大学関係	小計	件 330 (319)	件 100 (95)	件 100 (94)	件 87 (80)	件 13 (14)	
	内訳	国立 ^{※1}	148 (146)	52 (51)	52 (50)	47 (43)	5 (7)
		公立 ^{※1}	39 (36)	16 (12)	16 (12)	15 (12)	1 (0)
		私立	143 (137)	32 (32)	32 (32)	25 (25)	7 (7)
その他研究機関	小計	70 (67)	10 (18)	10 (18)	8 (16)	2 (2)	
	内訳	国立 ^{※2}	15 (14)	4 (8)	4 (8)	4 (6)	0 (2)
		公立 ^{※3}	52 (51)	6 (7)	6 (7)	4 (7)	2 (0)
		公益法人等 ^{※4}	3 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (3)	0 (0)
合計		400 (386)	110 (113)	110 (112)	95 (96)	15 (16)	

※1:国公立工業高等専門学校を含む

※2:国立研究開発法人を含む

※3:地方独立行政法人を含む

※4:地方公共団体が中心となって設立した公益財団法人等

表4 申請書受理件数と助成申請額

	合 計	個人研究	共同研究
受理件数(件)	110	95	15
申請額(千円)	291,406	221,107	70,299

受理した応募申請書が110件と多数であり、研究課題も多岐にわたっていたため、2024年10月23日に選考委員長を含む4名の選考委員による予備審査(一次審査)を行い、募集要領に示す対象研究分野の要件等を満たさない個人研究7件を選考対象外とした。一次審査に合格した103件(個人研究88件、共同研究15件)の応募申請書について、学術研究助成選考委員会の本審査に付託した。

2024年11月14日開催の第83回学術研究助成選考委員会において、応募申請書の審査・評点方法等を基本的に例年どおりとすることを決定し、15名の委員による審査・評点が行われることになった。

2025年2月7日開催の第84回同選考委員会において、委員による審査・評点の集計結果につき審議を行い、103件の中から56件(個人研究49件、共同研究7件)が助成対象候補に選定された。

選定された56件の助成申請額の合計が予算枠の1億3,000万円を上回っていたことから、予算枠、研究課題の内容等を勘案して査定を行い、個々の申請案件への助成金額を算定することについて選考委員長に一任された。

この選考委員会の結果が、第51回定例理事会(2025年2月26日)に提案され、2024年度学術研究助成の助成対象者とその助成金額が表5(後掲、以下各表同じ)のとおり決定された。

2 学術研究国際交流援助及び外国人留学生研究助成 (9件 計6,950千円)

(1) 学術研究国際交流援助 [4件 計1,950千円]

① 研究者の海外派遣援助 <2件 計950千円>

この事業は、海外で開催される当財団が指定する食品科学等の研究分野の国際学術会議に自費で出席し、研究発表を行おうとする研究者に対し助成するもので1990年度から実施されている。当財団が対象とする研究分野と関係の深い関連6学会に対し、2024年5月23日付け文書をもって「2024年度研究者の海外派遣援助募集要領」に基づく募集の案内と候補者の推薦を依頼した。なお、2019年度以降、より研究者に活用していただくため、前期・後期の2期に分けて募集を行っている。

本事業は飯島藤十郎賞選考委員会で選考を行っており、2024年7月16日開催の第27回同選考委員会で、本事業の趣旨とこれまでの経緯等の説明が行われた。

応募状況は、前期募集(2024年6月17日～7月26日)では1件、後期募集(2024年12月2日～2025年1月10日)では1件の申請があり、前期の1件については、第28回飯島藤十郎賞選考委員会(書面決議)にて、後期の1件については、2025年1月20日開催の第29回同選考委員会にて、それぞれ援助にふさわしいとして援助対象候補者に選定され、この選考委員会の結果が、それぞれ第50回臨時理事会(書面決議)、第51回定例理事会に提案されて、2024年度の研究者の海外派遣援助対象者とその助成額が表6のとおり決定された。

② 国際学術会議等開催援助 < 2件 計 1,000 千円 >

この事業は、当財団が指定する食品科学等の研究分野に関連のあると認められる国際会議等が我が国で行われる場合に、その運営費の一部を援助するもので、関連6学会及び(公社)日本農芸化学会に対して、2024年5月23日付け文書等をもって「2024年度国際学術会議等開催援助募集要領」の周知を依頼した。なお、2020年度以降は、①の研究者の海外派遣援助と同様に、前期・後期の2期に分けて募集を行っている。

本事業も飯島藤十郎賞選考委員会で選考を行っており、第27回同選考委員会で、本事業の趣旨とこれまでの経緯等の説明が行われた。

応募状況については、前期募集(2024年6月17日～7月26日)は2件、後期募集(2024年12月2日～2025年1月10日)は申請が無く、前期の2件については、第28回同選考委員会(書面決議)にて選定され、この選考委員会の結果が第50回臨時理事会(書面決議)に提案されて、2024年度の国際学術会議等開催援助対象者とその助成額が表7のとおり決定された。

(2) 外国人留学生研究助成 [5件 計 5,000 千円]

この事業は、当財団の指定分野に係る食品科学等の研究を行っている中国、台湾、韓国、アセアン諸国をはじめとするアジア地域等の国籍で日本に留学している外国人留学生(博士課程後期相当の大学院生)に対する研究費助成である。2016年度からは対象範囲が拡大され、私費留学生のみならず国費留学生も助成対象とされた。2024年度においては、「2024年度外国人留学生研究助成募集要領」に基づき、大学院(博士課程後期相当)が設置されている大学の中で当財団が指定する研究分野の講座等のある36の大学院・連合大学院に対して、2024年7月18日付け文書をもって募集案内と推薦の依頼をした。

本事業も飯島藤十郎賞選考委員会で選考を行っており、第27回同選考委員会で、本事業の趣旨とこれまでの経緯等の説明が行われた。応募状況については、2024年11月29日までの募集期間中に5件の申請があった。

第29回同選考委員会で審議の結果、5件全てが助成対象にふさわしいとされ、第51回定例理事会に提案され、2024年度の外国人留学生研究助成対象が表8のとおり決定された。

3 飯島藤十郎賞の授賞 (2件 研究奨励金 計 7,000 千円)

飯島藤十郎食品科学賞は、食品科学における学術上の研究に優れた業績が認められる研究者を対象とするもので、飯島食品科学賞として 1990 年度に創設され、2013 年度から当財団の設立者の名を冠した飯島藤十郎食品科学賞と改称された。2007 年度からは新たに食品の技術開発に優れた業績が認められる研究者(グループを含む)を対象とする技術賞が加えられ、2013 年度から同じく飯島藤十郎食品技術賞と改称された。また、飯島藤十郎食品科学賞及び飯島藤十郎食品技術賞を合わせて飯島藤十郎賞と総称することとされた。

2024 年度においては、関連 6 学会には 2024 年 6 月 21 日付文書等をもって、(公社)日本農芸化学学会には 2024 年 7 月 30 日付文書等をもって、また、当財団の理事、評議員、同賞選考委員に対し、「2024 年度飯島藤十郎賞募集要領」に基づき、同賞候補者の推薦を依頼した。

第 27 回飯島藤十郎賞選考委員会では、本事業の趣旨とこれまでの経緯等の説明が行われた。

推薦状況については、2024 年 11 月 29 日までの募集期間中に、飯島藤十郎食品科学賞候補として 4 件 4 課題、飯島藤十郎食品技術賞候補として 1 件 1 課題の推薦があった。

第 29 回同選考委員会において審議された結果、飯島藤十郎食品科学賞については、東京大学大学院農学生命科学研究科の内田浩二教授が、同賞授賞要綱・募集要領に記載されている対象研究分野に関して学術上特に優れた業績が認められ、授賞対象にふさわしい候補者として選出された。また、飯島藤十郎食品技術賞については、一般社団法人日本パン技術研究所の井上好文所長他 1 名が、同賞授賞要綱・募集要領に記載されている対象研究分野に関して食品の技術開発に優れた業績が認められ、授賞対象にふさわしい候補者として選出された。

この選考委員会の結果が、第 51 回定例理事会に提案され、2024 年度の飯島藤十郎賞が表 9 のとおり決定された。受賞者の業績概要は表 10 のとおり。

4 特定課題研究等助成 (31 件 計 82,000 千円)

本助成は、定款第 4 条第 1 項第 4 号に定める各分野において当財団として取り組むべき課題と、それに取り組むのにふさわしい研究者、研究グループ、団体等の選定をセットで行う場として、2013 年度に設置された特定課題研究等選考委員会の審議の下で行われるものであり、2017 年度からは、大型特定研究助成として、国際的な視点も踏まえた将来性のある研究テーマとこれに取り組む研究者・チーム(当初 1 件、2020 年度からは 2 件)に対して 2 年間で 1,000 万円の研究費を助成し、長期的な展望に立って日本の食品科学と食品産業の発展に資する取組みも実施されている。

2022 年 7 月 1 日に開催された第 31 回特定課題研究等選考委員会において、2022 年度からは、従来から重点課題とされてきた「食文化」、「食生活」及び「食の安全・安心」に加え、「パン類(和・洋菓子を含む)及び菓子類(ビスケット、キャンディー、チョコレート等)」に関する研究(パン類及び菓子類の品

質、原材料、製造工程、機械設備等に関する研究を含む)」を新たに重点課題として位置付けること、また、これらの重点課題については、同選考委員会の委員に加え、評議員及び理事からも提案を求めることになった。

2024年7月8日開催の第15回大型特定研究小委員会では、大型特定研究助成の選考準備に着手する方針が確認された。

2024年9月9日開催の第38回特定課題研究等選考委員会では、事業実施期日が迫っていることから速やかに助成を行う必要のある課題(以下「緊急案件という」)1件(表11の登録番号31)が、助成対象候補に選定された。また、評議員、理事及び同選考委員から提案された候補課題等について審議され、後掲表11の登録番号1から28までの28課題について申請書の提出を求めることとなった。

緊急案件については、2024年9月24日開催の第50回臨時理事会(書面決議)で異議なく承認された。

2024年10月8日には、第16回大型特定研究小委員会が開催され、慎重審議の結果、工学院大学先進工学部の飯島陽子教授と広島大学大学院統合生命科学研究科の川井清司教授が大型特定研究の助成対象にふさわしい候補者として選出され、特定課題研究等選考委員会に報告することとされた。

2024年12月9日開催の第39回特定課題研究等選考委員会では、第38回同選考委員会で確認した重点事項等を踏まえた提案30課題が審議され、このうち28課題(登録番号1~28)が助成対象候補として承認された。また、第16回同小委員会における大型特定研究の候補者2名の選出の経緯が報告された結果、了承され、2課題について申請書の提出を求めることとなった。

当該大型特定研究の2課題(登録番号29,30)については、2025年2月3日の第40回同選考委員会(書面決議)において、助成対象候補とすることとされた。

以上の選考委員会における審議経過を踏まえ、第51回定例理事会に助成対象候補が提案され、2024年度の特定期間研究等助成の助成対象30課題(この他、登録番号31は緊急案件として第50回臨時理事会で承認済み)とそれぞれの助成額が表11のとおり決定された。

5 助成金贈呈式・飯島藤十郎賞の授与式

2025年3月13日、如水会館において特定課題研究等助成金の事業執行の関係で助成金を年度内に交付する必要がある一部の助成先に対し、助成金の贈呈式が行われた。

2025年4月11日には、山崎製パン総合クリエイションセンターにおいて「2024年度学術研究助成金贈呈式、飯島藤十郎賞授与式及び特定課題研究等助成金贈呈式」が行われた。農林水産省・学会・財団関係者、受贈者・受賞者を招致して開催され、飯島幹雄理事長から、受贈者への助成金の贈呈及び飯島藤十郎賞受賞者への賞状・賞牌・研究奨励金の授与が行われた。また、各受贈者代表及び受賞者から謝辞が述べられた。これらの後に、事務局から、助成金の実務的事項に係る説明が行われた。

6 研究成果の公表・普及等

(1) 財団年報等の発行

2022年度助成の対象者から提出のあった成果報告書を取りまとめ、2024年9月に「2023年度年報(第39巻)」として発行して、関係官庁はじめ、全国の大学、短期大学、高等専門学校、研究機関、図書館及び当該年度助成対象者のほか、食品業界団体及び食品企業等に広く配布(製本229部、DVD538枚)した。

(2) 財団速報の発行(第164号～167号)

学術研究助成等の募集案内、応募状況、選考結果の公表、贈呈式・授与式の開催等、事業活動の概要を各段階で取りまとめ、速報として計4回、関係官庁及び関係報道機関等に対して広報を行った。

(3) 財団設立40周年記念行事の開催

財団設立40周年を迎えるにあたり、2024年9月30日に如水会館において「財団設立40周年記念行事」を開催した。政界、官界、学会、食品産業界及び山崎製パン関係者などが参加され、記念講演会・記念式典・祝賀会が行われた。記念講演会では、飯島幹雄理事長の開会の挨拶に続き、東京農業大学上原万里子教授及び東京大学阿部啓子名誉教授による飯島藤十郎食品科学賞受賞講演及び特別講演が行われた。記念式典では、冒頭に物故者への哀悼を捧げた後、来賓から祝辞が述べられた。続いて感謝状の贈呈が行われ、長きにわたって財団を率いた飯島延浩評議員会長と事業運営に貢献した上野川修一元副理事長に農林水産大臣感謝状が贈呈された。また、財団設立40周年記念に際して、2025年3月に記念誌『40年の歩み』を発刊し、関係者に広く配布した。